

平成23年度  
実施事業

事務事業名 総合体育館整備事業

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす
施策	1	生涯にわたるスポーツ活動の推進
小分類	4	施設整備の推進
主要な施策	1	施設の整備
事務事業番号	011	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 24 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	道道上登別室蘭線の拡幅に伴い、総合体育館の駐車場レイアウト等を変更する外構工事の測量及び実施設計を行う。また、総合体育館の耐震診断を行い、施設の安全性の確認を行う。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	平成23年度実施事業 総合体育館外構測量調査委託 総合体育館外構実施設計委託 総合体育館耐震診断業務委託
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	実施設計の成果をもとに、外構工事を行う。また、耐震診断の結果に基づき、改修に向けた検討を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

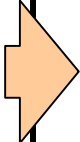
《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円			29,600		
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		10,857	9,900		
事業費 合計			0	10,857	39,500	0	0

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	総合体育館利用者数	人	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
			実績値	58,574	61,284			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>道道の拡幅計画により、総合体育館の駐車場等外構のレイアウトを変更する必要がある。</p>	<p>測量及び実施設計を実施し、平成24年度に本工事を行う。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）			《Check》
<b>1. 事務事業の妥当性について</b>			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 施設の管理者として市が行うべき事業である。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		国、道、民間等の事業と重複・類似している	
<b>2. 事務事業の必要性について</b>			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 道道のルート変更に伴う事業である。
		市民アンケートの結果から必要性が高い	
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		市民の大部分が関連することから必要性が高い	
<b>3. 事務事業の効率性について</b>			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 道道のルート変更に伴う事業である。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		将来的に効率性を向上できる	
<b>4. 事務事業の成果について</b>			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 本工事に向けた資料をそろえることが出来た。
		市民、団体等の声から成果を感じられる	
		目に見える形で成果があがっている	
		成果の把握は困難である	

担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) 本工事の実施に向け、事業を維持する。	

行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	